

復興まちづくりセンターにじいろ

気軽に集える住民活動と交流の場を目指して、**2022年4月**に開所しました。

建物概要

階数：地上1階建て

建築面積：461.3㎡

延べ面積：397.0㎡

構造種別：木造



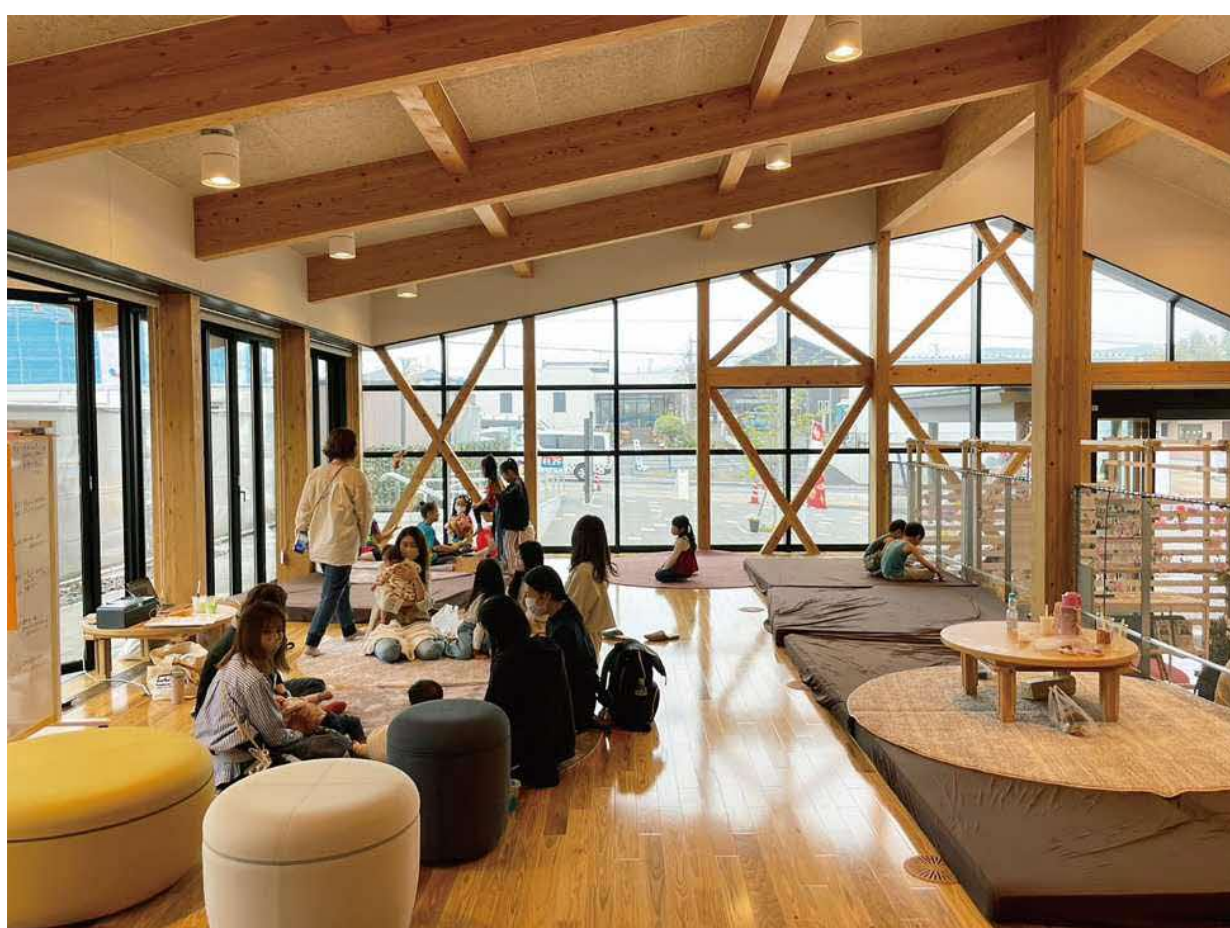
施設名「にじいろ」の由来

- ・雨の後に虹が架かるように、2016年熊本地震からの復興への希望という思いが込められています。
- ・2016年熊本地震の2016は「(に)(じ)ゅう(い)ち(ろ)く」⇒「にじいろ」と呼ぶことができ、熊本地震を忘れないという記憶の継承の意味も込められています。

施設の基本方針3つの「場」づくり

交流 気軽に集える活動と交流の場

『にじいろ』は、気軽に集える住民活動と交流の場です。自由に利用できる空間づくりに配慮し、子どもからお年寄りまで気軽に訪れる施設です。地域住民と地域おこし協力隊を中心に様々な地域活動やイベントを実施し、復興まちづくりを推進しています。これらの取り組みによって、地域内の関係性が強くなることを願っています。



▲子育て世代向けイベントの様子 / 県産木材を使用した落ち着いた館内

継承 熊本地震の記憶継承の場

熊本地震の記憶や経験、教訓などを後世に伝える場として、施設のスロープ部分を活用した展示機能を備えています。「ふるさと益城町」から順に展示をご観覧いただくことで、町の復旧・復興への歩みをご確認いただける構成となっています。展示内容：「益城町概要」「熊本地震と益城町」「復旧から復興までのタイムライン」など



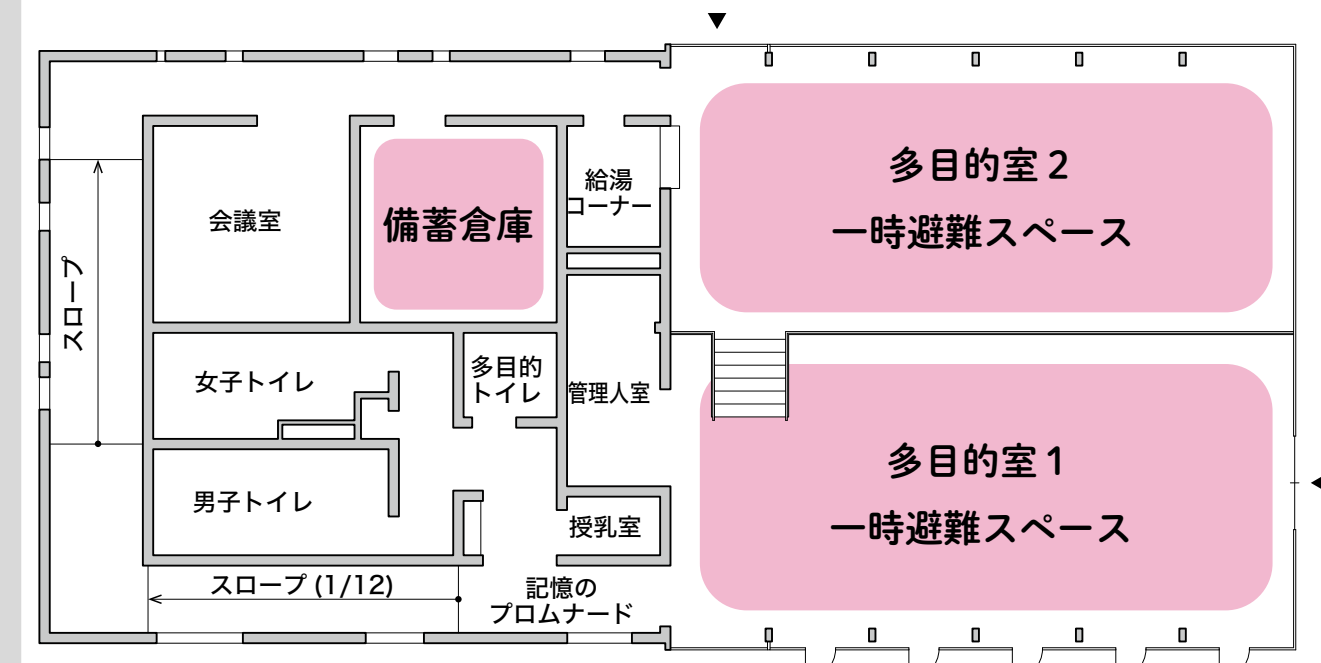
▲記憶のプロムナード

備え 災害に備える場

熊本地震の教訓から、突発的な災害に備え、毛布やパーテーションなどの資機材を備蓄しています。また、災害時には一時避難場所となります。平常時には、防災意識の向上を図るために、備蓄物資を活用したイベント等を実施しています。



防災WSや記憶の継承に関する取り組みも『にじいろ』を拠点に実施。災害に備えるために事前復興の視点向上への活動も生まれています。



▲にじいろ施設平面図